

国際観光芸術専門職大学(仮称)開設プレ事業

市民向け公開講座2020を開催

講師 渡辺えりさん



青俳演出部を経て、1978年から「劇団3〇〇(さんじゅうまる)」を主宰。1983年舞台「ゲゲゲの怪獣が時に揺れるブランコ」で第27回岸田國士戯曲賞、1987年「嘘の女 まだ見ぬ海からの手紙」で紀伊國屋演劇賞を受賞。現在は演劇制作集団「オフィス3〇〇」を母体にさらなる自由な表現を求めて意欲作を数々と発表している。映像作品では、1996年、映画「Shall We ダンス？」で報知映画賞助演女優賞、日本アカデミー賞最優秀助演女優賞を受賞。人気を博したNHK連続テレビ小説「あまちゃん」の他、多数のテレビドラマに出演。2019年12月公開の周防正行監督映画「カツベン」でも存在感を示している。2018年より日本劇作家協会会長。

カデミー賞最優秀助演女優賞を受賞。人気を博したNHK連続テレビ小説「あまちゃん」の他、多数のテレビドラマに出演。2019年12月公開の周防正行監督映画「カツベン」でも存在感を示している。2018年より日本劇作家協会会長。

▼募集期間 10月1日(木)～31日(土)

▼内容

○大学概要説明(兵庫県から)

○講演「演劇は生きる力」

～演劇に生かされた私の人生～

子供のころは、いじめられっこで引込み思案でした。そんな私は、文学少年少女だった両親が寝物語に読んでくれた絵本や詩集などの影響で、演劇に夢中になっていきました。演劇との出会いで私の人生が変わったのです。その頃を振り返り、中学高校での劇作の思い出や、芝居をやるために上京するきっかけになった演劇の舞台など、さまざまな演劇体験と芝居創りの楽しさと辛さをお話します。また、高村光太郎と宮沢賢治に大きな影響を受けた父親の生き方についても触れながら、自分の人生を語りたいと思います。そして、65歳の今思うこと…。現在のコロナ禍にあって、演劇製作は苦労が大きいですが、それでも、今後の演劇への夢は大きく広がり、世界平和への願いも変わりません。「夢見る力」を今後も持ち続けたいという願いを皆さんと分かち合いたいと思います。(渡辺えり)

▼日時 11月21日(土)午後1時30分

▼場所 豊岡市民プラザ ほっとステージ

▼定員 120人 ※応募者多数の場合は抽選

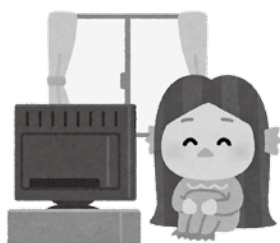
▼費用 無料

▼申込み 申込み先に電話・ファクス・メールで、住所・氏名・電話番号を伝えて申込み。応募結果は11月上旬にはがきを郵送して当選・落選をお知らせします。講座当日にはがきを持参してください。

▼主催 兵庫県

▼新型コロナ感染症対策 来場者の検温、手指消毒、マスク着用▽座席数を半分に▽会場内での会話は控えて▽感染拡大の状況によっては中止する場合があります。

《申込み・問合せ》NPO法人プラッツ ☎34-6078
ファクス24-3004 メールinfo@platz-npo.com



コロナによる世界的な経済活動の停滞によって、大気汚染が改善され、インドでは数十年ぶりに街中からヒマラヤ山脈が見えたと報道がありました。人間の活動が自然環境と深く結びついていることがよく分かります。テレワークや自粛により家で過ごす時間が増えたことは、身近な人や物と向き合い、自分にとっての「豊かさ」を考えるきっかけになりました。家の中の物を整理し、不要な物を仕分けしてごみに出された方も多いでしょう。ここで大切なのが、使った

る人に譲る(販売する)という選択。実は、生産時のエネルギーや焼却する時の環境負荷も減らす「リユース(再利用)」という「エコな行動」なのです。今は、不用品を買い取ってくれる店舗や機会も増えてあります。使い捨てではなく、長く使えるものを選び、ごみを出す以外の選択肢を意識する。この機会にできることから、環境にも人にも優しい「エコな暮らし」を始めてみませんか。(文 暮らしのエコをすすめる但馬の会)



第6回
Withコロナと
エコな暮らし

地球温暖化を防止するため、身近な環境問題と家庭でできるエコ活動を紹介します。
《問合せ》コウノトリ共生課
☎21-9017

2020

読書週間

標語

「ラストページまで
駆け抜けて」

期間:10月27日~11月9日

1947年に「読書の力によって平和な文化国家を創ろう」と始まった『読書週間』が、今年で74回目を迎えます。

一人一人に読書の素晴らしさを知ってもらうきっかけとなることを願い、図書館では次のとおり、企画展を開催します。



本館

国内文学賞受賞作品展

2019年10月~20年9月に発表された国内の主要文学賞の受賞作家および作品の紹介展示を行います。ぜひこの機会に、新しい文学界の動きをご覧ください。受賞作家の他の作品や、各賞の歴代受賞作品を展示するコーナーもあります。文学作品を読んで、充実した「読書の秋」を過ごしてみませんか。

〈展示期間〉10月21日(水)~11月2日(月)

城崎分館

「歴代本屋大賞受賞作品展」

今年第17回を迎えた『本屋大賞』。全国の本屋さんが選んだ最も読んでほしい本を、過去にさかのぼって紹介します。ぜひこの機会に手に取ってみてください。

〈展示期間〉

10月31日(土)~11月29日(日)

竹野分館

「最初の読者はアナタだ！」

竹野分館で残念ながら貸出しが0回の本を集めて展示します。

「貸出し『0(ゼロ)』救出作戦！」

上記の展示本に向けて紙飛行機を飛ばします。紙飛行機が落ちたところにある本が気になったら、または気に入ったら借りてみましょう。新たな本との出会いがあるかも。ぜひ、利用してください。

〈展示期間〉10月28日(水)~11月29日(日)

日高分館

「書き出しで選ぶ本」

本に、書き出し文を書いたカバーをつけています。頼りになるのは、このカバーのみ。“ビビッ”ときたらぜひ手に取ってください。そして、ラストページまで駆け抜けましょう！！

「〇〇賞を取りました！！」

何かの賞を受賞した本を展示します。“えっ！この本が！？”という発見をしてください。

〈展示期間〉

10月31日(土)~11月29日(日)

出石分館

「みんなに推したい！この一冊」

図書館利用者に募集した、図書館で借りて面白かった本を、お薦めのコメントとともに展示します。新しい本との出会いに、ぜひご覧ください。

展示期間中も、お薦めの本を募集しています。あなたも皆さんに本をお薦めしてみませんか。

〈展示期間〉10月31日(土)~11月29日(日)

但東分館

「ベートーベン生誕250年」

2020年は『エリーゼのために』『歓喜の歌』『運命』などが、クラシックの定番として広く愛されている作曲家ベートーベンの生誕250年にあたります。彼の音楽や人生に迫る資料を集め展示貸出します。ぜひ、利用してください。

〈展示期間〉10月31日(土)~11月29日(日)

〈問合せ〉

○本館 ☎23-6151

○日高分館 ☎21-9060

○城崎分館 ☎21-9072

○出石分館 ☎21-9010

○竹野分館 ☎21-9078

○但東分館 ☎21-9036

※掲載している情報は編集時点(9月14日)のもので、変更になっている場合がありますので、注意してください。